

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52302	教育課程論 Theory of Education and Child care a Curriculum	太田美鈴	✓	専門	2	選択	2年前期

科目の概要

カリキュラムには、「子ども」をどのような存在として捉え、保育を目指しているのかという根本的な問いが描き出されるものである。そこで、それらを実現する方法を考え、それによって導き出される教育課程、保育課程の編成と指導計画のあり方や作成方法を身に付ける。また、指導計画を作成するための、子どもを観察の方法と記録の仕方を理解する。計画・実践・省察・評価・改善の過程を理解し、幼児教育及び保育の現場で活用できる知識と技能を修得する。幼稚園・保育所での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。

学修内容	到達目標
教育課程、保育課程、指導計画の意義と目的を理解する 乳児保育、幼児保育における指導計画をデザインする 短期・長期及び様々な指導計画の実践展開をする 保育の計画のPDCAサイクルを理解し、自己評価の必要性を知る 様々なカリキュラムを把握し、カリキュラム・マネジメントを理解する	教育課程、保育課程、指導計画の意義と目的を述べることができる 乳児保育、幼児保育における指導計画を作成することができる 短期・長期及び様々な指導計画を作成し実践展開ができる 保育の計画のPDCAサイクルと自己評価を理解、活用することができる カリキュラム・マネジメントの意義や重要性を説明することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	年齢に合わせ指導計画を作成する。
	働きかけ力	
	実行力	課題にそって指導計画を作成する
考え抜く力	課題発見力	事例を読み解き、指導計画案の構成を理解し実践に結び付ける
	計画力	豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を作成する
	創造力	豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を作成する
チームで働く力	発信力	立案した指導計画を分析し説明することができる
	傾聴力	他者の計画、分析を聞く中で自分なりの意見、考えを比較し再構築できる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	学修ルールを守り、講義開始時間や課題提出期限や時間などには余裕をもって行動できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『保育カリキュラム論 計画と評価』建帛社 豊田和子・新井美保子編
参考文献：『幼稚園教育要領解説』文部科学省、『保育所保育指針解説書』厚生労働省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館、教育・保育実習実技ガイド、ひかりのくに・教育・保育実習安心ガイド、ひかりのくに配布するプリント

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教育実習、保育実習、保育・教職実践演習
資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
保育者を目指す者として自覚をもって受講すること。 常に、「自分が保育者の立場だったらどのような行動をとるだろうか」と考え、自分なりの考え方、保育観を構築できるように努めること。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや指針や要領を必ず持参のこと。 ・指導計画を作成するための保育内容を考えておくこと。 ・日常生活の中でも子ども観察をし、発達に合わせた保育立案に役立てる。 ・演習がある時は、事前に保育内容を考えておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	50	①	✓	カリキュラムについての理解を確認する。また、指導計画をデザインする際に大切にすべきことは何かを理解できているかを評価する。他に、保育課程、教育課程の意義及び編成の方法を理解し、長期や短期指導計画を作成することができるか、互いの計画の整合性を理解できているかどうかを評価する。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	10	①	✓	・指導計画と意義についてよく理解できているか。5点 ・指導計画をデザインするために重要点が把握できている。5点
				②		
				③	✓	
				④		
				⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	30	①	✓	保育課程、教育課程、年間指導計画、期間指導計画、月指導計画、週指導計画、日指導計画・部分指導計画、食育計画・長時間保育指導計画、連絡ノートそれぞれの持つ意味を理解しそれぞれの項目に沿って立案する。(10×3点：完成度を3段階評価...よくできている・3点、できている・2点、課題が残る・1点)		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性)年齢に合わせ指導計画を作成できる。 (実行力)課題にそって指導計画を作成できる。 (課題発見力)事例を読み解き、指導計画案の構成を理解し実践に結び付ける。 (創造力)豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を作成できる。 (発信力)立案した指導計画を分析し説明することができる (傾聴力)他者の計画・分析を、自分の意見や考えと比較し再構築できる。 (規律性)講義開始時間や課題提出期限などに余裕をもって対応できる。 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題などの未提出)が不適切の場合は減点とする 6回以上の欠席は放棄判定となる	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価 割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業態度、提出物の期限を守り、カリキュラムの意義を理解できている。 子どもの姿を反映し、独自性を持った指導計画の立案ができる。 総合評価90点以上S(秀) 89~80点A(優)	授業態度、提出物の期限を守り、カリキュラム作成の理解ができている。 子どもの姿を反映した、指導計画が立案できる。 総合評価79~70点B(良) 69~60点C(可)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 保育の基本とカリキュラム	講義 本日の学びと質疑 応答	授業の目的、授業内容、 進め方、受講態度、評価 方法についての説明を聞き 理解する。保育の基本と カリキュラムの意味を知る。	(予習)テキストの はじめにを読んでおく。 (復習)カリキュラ ムについてまとめて おく。	90	主体性 傾聴力 課題発 見力
2週 /	保育実践とカリキュラムの 意義	講義 本日の学びと質疑 応答	保育実践においてカリ キュラムを編成するこ との意義や活用の利点 について学ぶ。	(予習)テキスト9 ~18を読んでおく。 (復習)保育実践と カリキュラムの意義 についてまとめる。	90 90	課題発 見力
3週 /	保育実践とカリキュラムの 位置づけと関係	講義 本日の学びと質疑 応答	カリキュラムの種類や カリキュラム編成の流 れや実践例を通して保 育実践とカリキュラム との関係を理解する。	(予習)テキスト9 ~18を読んでおく。 (復習)保育実践と カリキュラムの位置 づけをまとめる。	90 90	課題発 見力
4週 /	保育所保育指針における 「保育課程」の基礎理解	講義 演習(保育課程) 本日の学びと質疑 応答	保育所では、保育所保 育指針に挙げられた保 育の目標と計画の基本的な考 え方を知るとともに、全 体的な計画と指導計画の 関係性を理解する。	(予習)保育所保 育指針の総則を読んで おく。 (復習)保育所保 育指針と保育課程につ いてまとめる。	90 90	主体性 傾聴力 課題発 見力
5週 /	保育所保育指針における 「指導計画」の基礎理解	講義 演習(年間指導計 画) 本日の学びと質疑 応答	具体的な計画である 「指導計画」について 作成上のポイントや計 画に対して基礎理解を し、指導計画を作成す る。	(予習)指導計画の 作成について予習し ておく。 (復習)作成上のポ イントをまとめる。	90 90	主体性 傾聴力 課題発 見力
6週 /	幼稚園教育要領における 「教育課程」の基礎理解	講義 演習(教育課程) 本日の学びと質疑 応答	幼稚園教育要領にお ける「教育課程」には保 育を行うにあたっての保 育の方向性が書かれて いる。教育課程の編成 の方法や意義とは何か を理解する。	(予習)幼稚園教 育要領の教育課程の 意義を読んでおく。 (復習)幼稚園教 育要領と教育課程につ いてまとめる。	90 90	主体性 傾聴力 課題発 見力
7週 /	幼稚園教育要領にお ける「指導計画」の基礎 理解	講義 演習(短期指導計 画) 本日の学びと質疑 応答	具体的な計画である 「長期指導計画」や 「短期の指導計画」に ついて編成のポイント や計画に対して基礎理 解し作成する。	(予習)指導計 画作成のポイント を予習しておく。 (復習)作上のポ イントをまとめる。	90 90	主体性 傾聴力 課題発 見力
8週 /	乳児保育における「指 導計画」のデザインと 実践展開(1)	演習 演習(月指導計 画) 本日の学びと質疑 応答	0・1・2歳児の発 達の特徴を理解し、ど のような活動で一日が 構成されているのかを 知り、活動の意義を考 える。	(予習)乳児の発 達の特徴を理解し指 導計画を考えておく。 (復習)演習を再確 認し、見直しデザ インし直す。	90 90	主体性 傾聴力 課題発 見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	乳児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(2)	講義 演習(連絡帳) 本日の学びと質疑 応答	0・1・2歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを学ぶ。また、家庭との連携について学ぶ。	(予習)乳児の生活の流れを把握しておく。 (復習)家庭との連絡を見直し、再記入してみる。	90 90	主体性 傾聴力 課題発見力
10週 /	幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(1)	講義 演習(週指導計画) 本日の学びと質疑 応答	3・4・5歳児の発達の特徴を理解し、どのような活動で一日が構成されているのかを知り、活動の意義を考える。	(予習)幼児の発達の特徴を理解しておく。 (復習)週指導計画のポイントをまとめ週指導計画を見直す。	90 90	計画力 創造力
11週 /	幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(2)	講義 演習(日指導計画案) 本日の学びと質疑 応答	3・4・5歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを学ぶ。また、家庭と地域との連携について学ぶ。	(予習)年齢による保育内容の編成を考える。 (復習)季節や時期、場所や人数による保育内容の編成をする。	90 90	主体性 傾聴力 課題発見力
12週 /	さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開(1)	講義 演習(食育計画・長時間保育指導計画) 本日の学びと質疑 応答	長時間・延長保育、預かり保育の場合の「指導計画」の工夫を実施状況や実施の留意点について学ぶ。	(予習)指導計画の多様性を調べておく。 (復習)指導計画の多様性についてまとめておく。	90 90	計画力 創造力
13週 /	さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開(2)	講義 演習(保幼小連携指導計画) 本日の学びと質疑 応答	保幼小連携の場合の「指導計画」の工夫からカリキュラムづくりの意義や実践よりこれからの課題について考える。	(予習)保幼小連携とはどのようなことを考えておく。 (復習)保幼小連携とはどのようなことをまとめておく。	90 90	主体性 傾聴力 課題発見力
14週 /	記録・反省・評価から再立案へ	演習 指導計画についての評価反省の考え方 本日の学びと質疑 応答	保育者が保育実践を記録することの意味や方法について学ぶとともに保育士及び保育所の自己評価との関係性を学ぶ。	(予習)実習記録に目を通し、自己評価し課題を考える。 (復習)フィードバックのプリントをもとに理解を深める。	90 90	傾聴力 発信力
15週 /	学校教育への接続を考えたカリキュラム・マネジメントについて	講義 グループ討議後 本日の学びと質疑 応答	指導計画を展開し生活と発達の連続性を踏まえ小学校との接続を考えた保育所児童保育要録や学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解する。	(予習)小学校への接続について考える。 (復習)小学校への連続性を考えたカリキュラム・マネジメントについて理解を深める。	90 90	課題 発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力